



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括本部管理本部長 (氏名) 渡辺 征志 TEL 06-6779-1171

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	39,960	5.1	641	5.7	811	10.9	2,568	369.7
2024年3月期第3四半期	38,010	3.6	607	△9.7	731	△16.5	546	7.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,020百万円 (290.4%) 2024年3月期第3四半期 261百万円 (△66.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	131.22	-
2024年3月期第3四半期	27.94	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	31,758	14,169	44.6
2024年3月期	29,539	13,305	45.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 14,169百万円 2024年3月期 13,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	3.9	1,000	14.1	1,200	17.4	2,800	245.4	143.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	20,102,000株	2024年3月期	20,102,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	527,174株	2024年3月期	527,170株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	19,574,827株	2024年3月期3Q	19,574,840株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要や企業の設備投資の増加等により、緩やかな回復基調が続いている一方、原材料価格の高騰などを背景にした物価上昇による消費マインドの低迷等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、基本方針として「新しい価値の創造」「利益の創出と社会的使命の遂行」「人材の戦略的活性化」「次世代DX卸ビジネスモデルへ向けて」を定め、特に具体的な施策として「構造改革の更なる前進」「ESG経営の推進」の2つを進めております。「構造改革の更なる前進」については、①収益性の向上 ②利益を伴った売上拡大 ③在庫・物流改革に取り組んでおり、「ESG経営の推進」については、①環境への対応 ②社会との調和 ③ガバナンスの強化に取り組んでおります。この方針及び施策のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は39,960百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は641百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益は811百万円（前年同期比10.9%増）となりました。これに加えて特別利益として投資有価証券売却益2,952百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,568百万円（前年同期比369.7%増）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

（卸売部門）

卸売部門は、アスレックス市場において、健康志向や運動への欲求の高まりにより、引き続きスポーツ用品の需要が活発化しております。自社品である「ゼットベースボール」の高付加価値商品が消費者から評価され、店頭における販売も堅調でした。サッカーは、スパイクを中心に大きく伸ばし、卓球はインバウンド需要が牽引し好調でした。ライフスタイル市場においては、スニーカー等の高機能シューズ、カジュアルシューズが好調でした。アウトドアカテゴリーのアパレル関連は堅調でしたが、用具類の購買意欲には落ち着きがみられました。

この結果、売上高は38,781百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

（製造部門）

製造部門は、野球・ソフトボール用品「ゼットベースボール」において、2024年改正の高校野球新基準に適合した当社硬式金属製バットが、使用者からの高い評価や支持を得た結果、大会等における同製品の使用率が大幅に上昇しました。バスケットボール用品の「コンバース」は、レフリーユニフォームが好調でしたが、学校部活動の部員数減少等による影響を受けており低調でした。また、製造部門の経営環境は、原材料価格の高騰や対米ドル円安状態の継続によって、製造原価は上昇傾向にあり、不透明かつ厳しい状況が続いております。

この結果、売上高は190百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

（小売部門）

小売部門は、専門性の高い品揃えと接客の充実により、顧客満足度を高めることに注力しましたが、アウトドア用具需要に落ち着きがみられるとともに、暖冬の影響もあって高価格帯商品の売れ行きが鈍ったことにより、売上高は減少となりました。

この結果、売上高は409百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

（その他部門）

物流部門は、倉庫作業料収入は増加しているものの、外部受託業務の保管料収入が減少した影響により低調でした。自社物流部門については、拡大移転を行った関西物流センターも含め順調に稼働しております。

スポーツ施設運営部門は、株式会社ゼオスを2023年5月1日に外部へ事業譲渡し、2023年12月に当社と合併しました。

この結果、売上高は578百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、流動資産が27,432百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,771百万円増加いたしました。これは主に売掛金が2,051百万円減少したものの、現金及び預金が5,985百万円、電子記録債権が258百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,325百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,552百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が2,589百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は31,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,219百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は16,064百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,048百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が758百万円減少したものの、電子記録債務が1,926百万円、未払法人税等が957百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ693百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が735百万円、長期借入金が47百万円が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は17,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,355百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は14,169百万円となり、前連結会計年度末に比べ863百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が1,596百万円減少したものの、利益剰余金が2,412百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.6%（前連結会計年度末は45.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては2024年11月14日の「2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,313	12,298
受取手形	413	526
売掛金	9,432	7,380
電子記録債権	1,843	2,101
商品及び製品	3,965	4,173
仕掛品	60	80
原材料及び貯蔵品	254	273
返品資産	259	312
その他	306	412
貸倒引当金	△188	△127
流動資産合計	22,661	27,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,475	2,478
減価償却累計額	△1,886	△1,911
建物及び構築物 (純額)	588	566
土地	1,228	1,228
その他	858	875
減価償却累計額	△707	△673
その他 (純額)	150	202
有形固定資産合計	1,967	1,997
無形固定資産		
その他	98	71
無形固定資産合計	98	71
投資その他の資産		
投資有価証券	4,232	1,643
長期貸付金	12	12
敷金	289	269
その他	364	375
貸倒引当金	△87	△43
投資その他の資産合計	4,811	2,256
固定資産合計	6,877	4,325
資産合計	29,539	31,758

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,951	5,193
電子記録債務	6,029	7,955
短期借入金	194	99
未払法人税等	153	1,110
未払消費税等	154	51
賞与引当金	229	299
返金負債	306	368
その他	996	985
流動負債合計	14,015	16,064
固定負債		
長期借入金	47	—
繰延税金負債	832	97
退職給付に係る負債	313	329
長期未払金	11	11
その他	1,012	1,086
固定負債合計	2,218	1,524
負債合計	16,233	17,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	6,784	9,196
自己株式	△74	△74
株主資本合計	10,683	13,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,564	968
繰延ヘッジ損益	25	69
為替換算調整勘定	41	44
退職給付に係る調整累計額	△9	△8
その他の包括利益累計額合計	2,622	1,073
純資産合計	13,305	14,169
負債純資産合計	29,539	31,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	38,010	39,960
売上原価	31,322	33,146
売上総利益	6,687	6,814
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	365	379
運賃及び荷造費	663	704
賃借料	193	185
役員報酬及び給料手当	2,274	2,327
貸倒引当金繰入額	35	△61
賞与引当金繰入額	269	279
減価償却費	108	91
その他	2,171	2,265
販売費及び一般管理費合計	6,080	6,172
営業利益	607	641
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	55	68
保険解約返戻金	35	—
受取賃貸料	20	65
貸倒引当金戻入額	—	16
業務受託料	3	3
その他	15	15
営業外収益合計	130	170
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	4	0
営業外費用合計	5	1
経常利益	731	811
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,952
特別利益合計	—	2,952
税金等調整前四半期純利益	731	3,763
法人税、住民税及び事業税	123	1,207
法人税等調整額	61	△12
法人税等合計	184	1,194
四半期純利益	546	2,568
親会社株主に帰属する四半期純利益	546	2,568

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	546	2,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△259	△1,596
繰延ヘッジ損益	△35	44
為替換算調整勘定	8	3
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△285	△1,548
四半期包括利益	261	1,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261	1,020

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	113百万円	95百万円